

登録コード	F3A57320	開講年度	2026				
授業科目	感性造形					担当教員	長尾 幸郎
英文授業名	Kansei Design					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・4時限	対象学生	
講義室	繊維11番講義室	授業形態	講義	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2 5Fカリ・先進感性，2 4Fカリ・先進感性						
	【2023年度以降カリキュラム対象】繊維関連製品群に関する情報を収集・分析し、発信する能力				⇔	優れたデザインに触れて、描き、創り、自身の能力を高める	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	1.描写力（前半） 対象物を忠実に平面に表現する訓練を行います 2.個の表現（後半） 自分なりの考えやアイデアをビジュアルで表現する訓練を行います 多様な素材、題材をテーマにしながら演習を行います。 描く訓練を積み重ねていくことで、モノの捉え方が変わってくると思います。 プロダクトデザイン等豊富なデザイン活動経験のある教員が実務経験を活かして講義を行います。						
(5)授業計画	■■■100分授業14回で行います■■■ 第 1回 ガイダンス 《前半：デッサン＋平面デザイン》 第 2回 石膏デッサン 第 3回 石膏デッサン＋平面構成 第 4回 石膏デッサン＋平面構成 第 5回 石膏デッサン＋平面構成 第 6回 静物デッサン＋平面構成 第 7回 静物デッサン＋立体構成 《後半：立体デザイン＋人物表現＋透視図》 第 8回 立体デザイン 第 9回 立体デザイン 第10回 立体デザイン 第11回 人物表現+透視図 第12回 人物表現+透視図 第13回 透視図 第14回 まとめ、授業アンケート						
(6)成績評価の方法	授業態度、課題制作により評価します。 講義中の演習及び講義後の小課題が多いので、14回の講義への出席を求めます。 尚、期末試験はございません。						
(7)成績評価の基準	秀： 授業の達成目標の水準から見て卓越している 優： 授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良： 授業の達成目標の水準よりやや上にある 可： 授業の達成目標の水準にある 不可（D）： 授業の達成目標の水準よりやや下にある 不可（F）： 授業の達成目標の水準にない						
(8)事前事後学習の内容	講義後に毎回事後課題を出します。造形力を短期間に養うために多くの課題に取り組んでももらいます。 この授業は90 時間の学修を必要とする内容です。従って60 時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意	詳細は初回のガイダンスにて説明しますが、画材購入が必要となります。						
(10)質問,相談への対応	随時受けつけますので、下記アドレスに連絡下さい。 研究室：H棟502号室 メールアドレス：y_nagao@shinshu-u.ac.jp						
(11)学生へのメッセージ	アイデアをビジュアル化することはデザイナーだけではなく多くの分野、職種で求められるようになってきています。 多様な演習を予定していますが、造形力を高めていくことを自分事としてとらえて講義に望んで下さい。						
(12)その他							
【教科書】	教科書はありませんが、講義資料に適宜参考テキストを記載します。 尚、講義資料は講義後に共有します。						
【参考書】	予定している画材は下記となります。 ・マルマンスケッチブック（Lサイズ）¥650程度						

【参考書】	・鉛筆 6B、4B、2B、2H ・練り消しゴム ¥100程度 ・消しゴム ・PMPAD (A4サイズ) ¥750程度 ・マーカー2本 各¥350程度
-------	--